

学校研究課題

I 研究主題 「思考力を鍛える ～デジタルツールを効果的に活用した授業実践を通して～」

II 主題設定の理由

本校はこれまで、「思考力を鍛える」を研究の柱として授業力向上に取り組んできた。グループワークや討論を日常的に取り入れることで、生徒は仲間と主体的に学び合う姿勢を自然に身につけている。また、ポスターセッション・プレゼンテーション・ディベートなど多様な表現活動を積み重ねることで、高い言語活用能力も培われてきた。基礎・基本の確実な習得を土台とし、批判的思考によってそれを活用するという本校の授業スタイルは、着実に定着しつつある。

令和6年度、7年度の2年間にわたって取り組んだ「共創型対話を取り入れた授業実践」では、各教科において一定の成果を上げることができた。この実践を通じて、生徒同士が対話によって互いの考えを深め合う土壌が形成されてきた。一方、この期間に一人1台PCをはじめとするデジタル環境の整備が進み、デジタルツールは今や学習ツールのひとつとして日常的に活用できる状況となっている。さらに昨年度からは生成AI (Google Gemini) の活用も始まり、生徒・教師の双方が授業の内外で積極的に使用するようになってきている。

こうした環境の変化を踏まえ、今年度はデジタル機器を意図的・計画的に授業へ組み込むことで、共創型対話で培った思考力をさらに深化させることをねらいとする。特に、脳神経レベルでの個人差 (ニューロダイバーシティ) に対応するため、AI などのデジタルツールを活用した個別最適な学びを実現しながら、同時に他者との対話を通じて思考力を鍛えることを目指す。

本校の研究が最終的に目指すのは、校訓「自彊不息 (自ら努めて止まない)」の体現である。その原動力は「学ぶことの楽しさ」にあると考える。ただしその楽しさは、知的な探究に根ざしたものでなければならない。デジタルツールを学習過程に取り入れることで、新たな知識や多様な価値観と出会う喜びを生徒が実感し、他者との対話を通じて自らの考えを広げ深めようとする姿勢を育てたい。

以上の理由から、本校は令和8年度の研究主題を「思考力を鍛える ～デジタルツールを効果的に活用した授業実践を通して～」とし、これまでの研究をさらに発展・深化させることとした。
